

(7)

(第三種郵便物認可)

商流物流

362

「中国の高品質な天然資源と日本の繊細な技術を結び付けて、お互いの国の化学工業、流通の交流促進と発展に貢献していくことが、私の目指すところ」と朝日貿易の笠原丈矢社長は穏やかな表情にも力強い意志を感じ

させる。輸入業務を中心とする商社活動が順調な進展をみせ、取り扱い商品も徐々に増えてきている。需要変化が激しくなってきた国内市場に絶えず目を配りながら、「今後はニッチ領域の商品を充実させたい」として付加価値路線の積極展開を図る考えのようだ。

同社は、一九八八年に設立し、化学工業薬品、肥料、資料、一般工業原料などの輸出入業務をメインとする企業。当初は肥料原料の扱いからスタートし、五年前にカーバイド、染料など化学工業薬品に手を広げ、周辺分野を順次拡大してきた。

朝日貿易

笠原 丈矢 社長



拠点として天津、大連に前にも来日、九二年に日本二事務所を構え、輸出入国籍を取得した。

「三年前から化学品に對する成果は上がってきている」と業績が順調に伸びている様子。東京本社と中国を結ぶビジネス仕事に従事し、約二十年

日本国内での取引先のほとんどが大手化学メーカー

付加価値商品でニッチ領域を充実

ら付き合いのある大手商社の紹介を通じ、笠原社長は、もともと中国の輸出入業務に携わる仕事に従事し、約二十年の経験がある。最近の成果の一つは、私に商社の方を中心に皆様に指導いただき、その結果、ビジネスを手掛けていくことができていく」と取引先への感謝の気持ちを常に忘れない。

出身地である東シナ海沿いの都市・温州(浙江省)は、日本の特産品ともしえるウンシュウミカンにそのルーツを提供した土地で、むかしの人がみかんを持ち込んだように(精製や加工技術)に改良え、日本の環境に根付く種(化学品)を探し求め

「ことに力を注ぎたい」と語気を強める。その最近の成果の一つが水酸化バリウム。山西省榆次市のメーカーとの間で、品質確保のため、用水から物流管理にいたるまで数項目にわたるチェックを重ね「価格が安いのに、品質面では日本製品と互角に勝負できる製品供給が可能となった」と自信をみせる。

課題としては「個々の扱い商品の機能と市場を効率よく結び付ける国内販売網の充実で、分野ごとに強みのある各商社との取引をもっと増やしていきたい」と笠原社長の意欲をみせる。

カー、大手商社、農業団体などで、とくに以前か